

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(土木工事用・検査員)

適用基準日 : 令和6年4月1日

施工管理

出来形

【出来形標準工事】
【機械設備工事】
【電気設備工事】・【通信設備工事】・【受変電設備工事】

品質

【1】コンクリート構造物工事
【2】土工事(切土、盛土、堤防等工事)
【3】護岸・根固め・水制工事
【4】鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)
【5】砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)
【6】舗装工事
【7】法面工事
【8】基礎工事及び地盤改良工事
【9】海岸工事
【10】コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)
【11】塗装工事
【12】トンネル工事
【13】植栽工事
【14】防護柵(網)・標識・区画線等設置工事
【15】電線共同溝工事
【16】維持工事(清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理など)
【17】修繕工事(落橋防止の新設維持更新、橋脚補強、耐震補強など)
【18】機械設備工事
【19】電気設備工事
【20】通信設備工事・受変電設備工事
【21】港湾築造工事(浚渫海岸築造工事を含む) その1 その2 その3
【50】ブロック(石)積(張)工事
【51】かご工事(じゃかご・ふとんかご)
【52】二次製品構造物工事、小型構造物工事
【53】河川浚渫工事
【54】矢板工事(笠コンクリート工事含む)
【55】鋼製自在枠矢板工事
【56】砂防ソイルセメント工事
【57】アンカー工事(グラウンドアンカー工)
【58】切土補強工事(鉄筋挿入工)
【59】地下水排除工事
【60】落石防止網設置工事
【61】補強土壁工事
【62】軽量盛土工事(EPS)
【63】遊戯施設整備工事
【64】下水道(開削)工事
【65】下水道(推進)工事
【66】ブロック舗装工事
【67】グラウンド・コート舗装工事(クレー)(アンツーカー)(ウレタン)
【68】道路修繕工事 その1 その2 その3
【69】仮設工事 その1 その2
【70】撤去工事
【100】ほ場整備工事
【101】汎用化対策工事(湧水処理)
【102】ため池工事
【103】管水路工事(パイプライン)
【104】獣害防止柵設置工事
【200】植栽(森林)工事
【201】木製構造物工事(木製ダム)
【202】本数調整伐
【203】徐伐
【204】枝落とし
【205】下刈り
【300】魚礁製作工事 魚礁設置・投入工事
【上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工、共同溝補強工等)又は合併工事】

出来ばえ

【1】	コンクリート構造物工事
【5】	砂防構造物工事
【9】	海岸工事
【12】	トンネル工事
【2】	土工事(盛土・築堤工事等)
【2】	切土工事
【3】	護岸・根固め・水制工事
【50】	石・ブロック積(張り)工事
	護岸工事以外
【4】	鋼橋工事
【5】	地すべり防止工事
【57】	アンカー工事(グラウンドアンカー工)
【58】	切土補強土工事(鉄筋挿入工)
【59】	地下水排除工事
【6】	舗装工事
【7】	法面工事
【8】	基礎工工事(地盤改良等を含む)
【10】	コンクリート橋上部工事
【11】	塗装工事(工場塗装を除く)
【13】	植栽工事
【14】	防護柵(網)工事
【14】	標識工事
【14】	区画線工事
【15】	電線共同溝工事
【16】	維持修繕工事
【17】	修繕工事
【68】	道路修繕工事
【18】	機械設備工事
【19】	電気設備工事
【20】	通信設備工事
	受変電設備工事
【21】	港湾築造工事(海岸築造工事を含む)
【21】	港湾浚渫工事
【21】	ブロック製作工事(ケーソン陸上製作工事を含む)
【51】	かご工事
【52】	二次製品構造物工事、小型構造物工事
【53】	河川浚渫工事
【54】	矢板護岸工事
【55】	鋼製自在枠工事
【201】	木製構造物工事(木製ダム)
【56】	砂防ソイルセメント工事
【60】	落石防止網工事
【61】	補強土壁工事
【62】	軽量盛土工事(EPS)
【63】	遊戯施設整備工事
【64】	下水道工事(管渠)
【65】	下水道工事(推進)
【66】	ブロック舗装工事
【67】	グラウンドコート舗装工事(クレー舗装)
	(アンツーカー舗装)(ウレタン舗装)
【69】	仮設工事
【70】	撤去工事
【100】	ほ場整備工事
【101】	汎用化対策工事(湧水処理)
【102】	ため池工事
【103】	管水路工事(パイプライン)
【104】	獣害防止柵設置工事
【200】	植栽(森林)工事
【202】	本数調整伐
【203】	除伐
【204】	枝落し
【205】	下刈り
【300】	魚礁設置工事
	【上記以外の工事又は合併工事】

土木工事 ～ 考査項目別チェック表(検査員用)

2. 施工状況

I. 施工管理

チェック欄

- d ☐ 施工管理について、監督員が文書で改善指示を行った。
e ☐ 施工管理について、監督員からの改善指示に従わなかった。

◎上記事項に該当していないとき

●評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目(安易に評価しない項目)

- | | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 契約書第18条第一項第1号～5号に基づく、設計図書の照査を行っていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☒ | ★ 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更を除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出されていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 工事材料の品質に影響がないよう工事材料が保管されていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 段階確認等の手続きを事前に行っていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☒ | ☆ 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 工事関係書類を過不足なく作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☒ | ☆ 社内の管理基準の設定、管理方法が工種毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 電気設備等について、設備更新時の新旧設備の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切に実施していることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | その他[理由: _____] |

① ☐ ② ☐ 上記の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準

- | | |
|---------------------|---|
| 評価値が90%以上..... | a |
| 評価値が80%以上90%未満..... | b |
| 評価値が80%未満..... | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【出来形標準工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

- ◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。
測定数が3点以上の場合にばらつき判定を行う。

● 評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目（安易に評価しない項目）

- 1) ☐ 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。
2) ☐ ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。
3) ☐ ☆ 不可視部分の出来形が写真により確認できる。
4) ☐ 写真管理基準の管理項目を満足している。
5) ☐ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。
6) ☐ その他〔理由： 〕

① ☐ 上記項目の合計

④ 評価 ばらつきの程度「50」or「80」を記入

- ①出来形は、工事全般を通じての評定をするものとする。
②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。
③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。
④出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。

● 判断基準

評価対象項目 の評価数	ばらつきで判断可能			
	規格値の 概ね50%以内	規格値の 概ね80%以内	規格値を満足	ばらつきで 判断不可能
4項目以上	a	b	c	b
3項目	a'	b	c	b
2項目	b'	b'	c	b'
1項目以下	c	c	c	c

注) 試験結果の打点数が3点未満の場合はばらつきで判断しない、評価対象項目(評価値)だけで評価する。

★ ICTを活用した施工に関する出来形のバラツキの判定方法は、「別紙－3②～⑤」の記入例を参照

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【機械設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目（安易に評価しない項目）

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ○ | ☐ | 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ | ☐ | 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 |
| 3) | ☐ | ○ | ☐ | 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 |
| 4) | ☐ | ○ | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ○ | ☐ | ☆ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 |
| 6) | ☐ | ○ | ☐ | 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 |
| 7) | ☐ | ○ | ☐ | 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 |
| 8) | ☐ | ○ | ☐ | ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ○ | ☐ | 設計図書に定められている予備品に不足がないことが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ○ | ☐ | 分解整備における既設部品等の摩耗・損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録されていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ○ | ☐ | その他(理由: _____) |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③=②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準

- | | | |
|----------------|-------|--------|
| 評価値が90%以上 | | 『 a 』 |
| 評価値が80%以上90%未満 | | 『 a' 』 |
| 評価値が70%以上80%未満 | | 『 b 』 |
| 評価値が60%以上70%未満 | | 『 b' 』 |
| 評価値が60%未満 | | 『 c 』 |

土木工事～検査項目別チェック表（検査員用）

【電気設備工事】・【通信設備工事】

【受変電設備工事】

出来形

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目（安易に評価しない項目）

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 機器等の測定（試験）結果が、その都度出来形管理図表及び出来形管理表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 写真管理基準の管理項目を満足している。 |
| 4) | ☐ | ☐ | ☆ 不可視部分の出来形が写真により確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 設備の据え付け、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設されていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けられている。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設計図書に定められている予備品等に不足が無い。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 高温部等の危険箇所への二重表示、二重防護など運用における不可抗力を想定した安全対策がなされている。 |
| 14) | ☐ | ☐ | その他(理由: _____) |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

● 判断基準

評価値が90%以上		『 a 』
評価値が80%以上90%未満		『 a' 』
評価値が70%以上80%未満		『 b 』
評価値が60%以上70%未満		『 b' 』
評価値が60%未満		『 c 』

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

【1】コンクリート構造物工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- 2) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 3) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 4) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、及び締め固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- 5) ☐ ☐ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 6) ☐ ☐ コンクリートの打設前に、打ち継ぎ目処理が適切に行われていることが確認できる。
- 7) ☐ ☐ 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。
- 8) ☐ ☐ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。
- 9) ☐ ☐ 鉄筋の組み立て及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。
- 10) ☐ ☐ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 11) ☐ ☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 12) ☐ ☐ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様書に定められた条件を満足することが確認できる。
- 13) ☐ ☐ 有害なひび割れが無い。
- 14) ☐ ☐ その他〔理由 〕

〔コンクリート構造物品質確認ガイドの適用範囲に示される構造物〕

- 15) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
☐ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【2】土工事(切土、盛土、堤防等工事)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 段切りを設計図書に基づき行われていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 締め固めが仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 法面に有害な亀裂がない。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【3】護岸・根固め・水制工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 施工基面を平滑に仕上げられていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じていないよう十分行っていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結を、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | コンクリートブロック等を損傷なく設置されていることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工されていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 有害なひび割れが無い。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

[コンクリート構造物品質確認ガイドの適用範囲に示される構造物]

- 16) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
☐ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表（検査員用）

【4】鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【工場製作関係】

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 鋼材の種別が、品質を適正に管理している。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 孔空けによって生じたまくれが削りとられているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

【架設関係】

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | ボルトの締付確認が実施され、記録が保管していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 架設に用いる仮設備及び架設用機材について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 現場塗装部のケレン及び塗膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表（検査員用）

【5】砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
2) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
3) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
4) ☐ ☐ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
5) ☐ ☐ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
6) ☐ ☐ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
7) ☐ ☐ 鉄筋及び鋼材の品質を、適正に管理していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 有害なひび割れがないことが無い。
9) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【砂防構造物工事に適用】

- 1) ☐ ☐ コンクリート打設まで錆、どろ、油等の有害物質が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。
2) ☐ ☐ 鉄筋の組立て及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 施工基面を平滑に仕上げられていることが確認できる。
4) ☐ ☐ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。
6) ☐ ☐ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
7) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】

- 1) ☐ ☐ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ ライナープレートとの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 集・排水ボーリング工の方向及び角度が適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐

$$\textcircled{3} = \textcircled{2} \div \textcircled{1}$$

☐ %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
評価値				
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【6】舗装工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【路床・路盤工関係】

- 1) ☐ ☐ 設計図書に定められた試験方法でCBR値を、測定していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 路床及び路盤工のブルーフローリングを、行っていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう、施工していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
7) ☐ ☐ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。
8) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【アスファルト舗装工関係】

- 1) ☐ ☐ アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果または、事前審査制度の証明書類により確認できる。
2) ☐ ☐ 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
3) ☐ ☐ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
6) ☐ ☐ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
7) ☐ ☐ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【コンクリート舗装工関係】

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
2) ☐ ☐ 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
4) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
5) ☐ ☐ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
7) ☐ ☐ チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
8) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

① ☐ ② ☐

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
② 削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

【7】法面工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)
2) ☐ ☐ 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分に行なっていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他〔理由〕

【種子吹き付け工、客土吹き付け工、植生基材吹き付け工関係】

- 1) ☐ ☐ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。
2) ☐ ☐ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。
3) ☐ ☐ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
5) ☐ ☐ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。
7) ☐ ☐ その他〔理由〕

【コンクリート又はモルタル吹き付け工関係】

- 1) ☐ ☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 金網が破損を生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ 吸水性の吹き付け面において、事前に吸水させてから施工されていることが確認できる。
5) ☐ ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
6) ☐ ☐ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。
7) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
8) ☐ ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
9) ☐ ☐ 法肩の吹き付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工されていることが確認できる。
10) ☐ ☐ その他〔理由〕

【現場打枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】

- 1) ☐ ☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 現場養生が設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
5) ☐ ☐ 枠内に空隙がないことが確認できる。
6) ☐ ☐ 層間にはく離が無いことが確認できる。
7) ☐ ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
8) ☐ ☐ その他〔理由〕

① ☐ ② ☐

③＝②÷①

☐ %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表 (検査員用)

【8】基礎工事及び地盤改良工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打ち、深礎等)】

- 1) ☐ ☐ 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。
2) ☐ ☐ 既設杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。
4) ☐ ☐ 水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。
7) ☐ ☐ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が設計図書を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が設計図書を満足していることが確認できる。
10) ☐ ☐ ライナープレートを組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
11) ☐ ☐ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。
12) ☐ ☐ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。
13) ☐ ☐ その他〔理由 〕

【地盤改良関係】

- 1) ☐ ☐ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を、整理していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他〔理由 〕

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【9】海岸工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げられていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

〔コンクリート構造物品質確保ガイドの適用範囲に示される構造物〕

- 10) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
□ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表 (検査員用)

【10】コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- 2) ☐ ☐ コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 3) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 4) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- 5) ☐ ☐ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 6) ☐ ☐ 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。
- 7) ☐ ☐ 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 8) ☐ ☐ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 9) ☐ ☐ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 10) ☐ ☐ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。
- 11) ☐ ☐ コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 12) ☐ ☐ スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 13) ☐ ☐ プレベーム桁のプレフレクション管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 14) ☐ ☐ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
- 15) ☐ ☐ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が設計図書の仕様を満足することが確認できる。
- 16) ☐ ☐ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 17) ☐ ☐ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。
- 18) ☐ ☐ 有害なひび割れがない。
- 19) ☐ ☐ その他〔理由 〕

〔コンクリート構造物品質確保ガイドの適用範囲に示される構造物〕

- 20) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
☐ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
評価値				
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【11】塗装工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | ケレンを入念に実施していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行なっていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【12】トンネル工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- 2) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 3) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 4) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。
- 5) ☐ ☐ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 6) ☐ ☐ 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。
- 7) ☐ ☐ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 8) ☐ ☐ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工が行われていることが確認できる。
- 9) ☐ ☐ 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。
- 10) ☐ ☐ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。
- 11) ☐ ☐ 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。
- 12) ☐ ☐ ロックボルトの定着長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 13) ☐ ☐ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。
- 14) ☐ ☐ 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目を同一線上で施工していないことが確認できる。
- 15) ☐ ☐ その他〔理由_____〕

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【13】植栽工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【14】防護柵(網)・標識・区画線等設置工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 防護柵の支柱の根入れ長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力が与えられているのが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 16) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【15】電線共同溝工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 管路の通過試験が行われており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるように、かつ不陸がないように仕上げていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等がないよう敷設していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他[理由 <input type="text"/> |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

【16】維持工事(清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理など)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 使用する材料品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
- 2) ☐ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
- 3) ☐ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
- 4) ☐ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。
- 5) ☐ 理由 _____
- 6) ☐ 理由 _____
- 7) ☐ 理由 _____
- 8) ☐ 理由 _____

☐ 上記項目の合計

④ 評価

●判断基準

- ※ 該当項目が6項目以上 a
- ※ 該当項目が5項目 a'
- ※ 該当項目が4項目 b
- ※ 該当項目が3項目 b'
- ※ 該当項目が2項目以下 c

注) 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。
ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【17】修繕工事(落橋防止の新設維持更新、橋脚補強、耐震補強など)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
- 2) ☐ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
- 3) ☐ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
- 4) ☐ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。
- 5) ☐ 理由 _____
- 6) ☐ 理由 _____
- 7) ☐ 理由 _____
- 8) ☐ 理由 _____

☐ 上記項目の合計

④ 評価

●判断基準

- ※ 該当項目が6項目以上 a
- ※ 該当項目が5項目 a'
- ※ 該当項目が4項目 b
- ※ 該当項目が3項目 b'
- ※ 該当項目が2項目以下 c

注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。
ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【18】機械設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 設計図書の仕様をふまえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に作動することが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類が整理し、品質が確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 小配管、電気配線・配管が承諾図書のとおり敷設されていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備の取扱い説明書を適切に作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法についてまとめてあることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 機器の配置について、点検しやすいことが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 設備の構造や機器の配置が部品等の交換作業を容易にできることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 |
| 16) | ☐ | ☐ | 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 |
| 17) | ☐ | ☐ | 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 |
| 18) | ☐ | ☐ | 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 |
| 19) | ☐ | ☐ | 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 |
| 20) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【19】電気設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され、操作性に優れていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認出来ない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備全体についての取扱い説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他〔理由 _____〕 |

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。
- ③評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）
- ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90％以上 | | a |
| ※ 評価値が80％以上90％未満 | | a' |
| ※ 評価値が70％以上80％未満 | | b |
| ※ 評価値が60％以上70％未満 | | b' |
| ※ 評価値が60％未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【20】通信設備工事・受変電設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等との適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能が工場試験記録により確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備全体についての取扱い説明書を適切に作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【21】港湾築造工事(浚渫海岸築造工事を含む) その1

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 既設構造物に影響がないように十分検討して施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 材料等の品質に異常が想定される場合、品質確認に必要な試験等を行っていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 気象・海象を十分調査して施工していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 仕様書に定められた注意事項が守られていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | 作業船が十分管理下におかれ、統率されされていることが確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【浚渫・床掘関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 土砂処分における運搬中に、土砂が漏出しないう施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況等を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告を速やかに行っていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【地盤改良関係】

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションを連続した一様な形状・品質に施工していることが打込記録等により確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打設記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| 10) ☐ | ☐ | マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 |
| 11) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【マット、捨石及び均し関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | マットを破損なく所定の幅で重ね合わせていることが写真記録等により確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 捨石、被覆及び根固め石をゆるみのないよう堅固に施工していることが記録により確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 裏込めを既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工していることが記録により確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【21】港湾築造工事（浚渫海岸築造工事を含む） その2

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【本体: 杭及び矢板、控工関係】

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 |
| 2) | ☐ | 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等を整備し、かつ記録が確認できる。 |
| 5) | ☐ | 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 |
| 9) | ☐ | その他[理由 _____] |

【本体: ケーソン据付、ブロック据付関係】

- | | | |
|-----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | その他[理由 _____] |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【21】港湾築造工事(浚渫海岸築造工事を含む) その3

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙ー3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

【コンクリート関係】

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
2) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
3) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
4) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
5) ☐ ☐ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
6) ☐ ☐ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。
7) ☐ ☐ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
8) ☐ ☐ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
9) ☐ ☐ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
10) ☐ ☐ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
11) ☐ ☐ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
12) ☐ ☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
13) ☐ ☐ 有害なひび割れが無い。
14) ☐ ☐ その他[理由 _____]

[コンクリート構造物品質確保ガイドの適用範囲に示される構造物]

- 15) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
☐ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【50】ブロック(石)積(張)工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 裏込材及び胴込コンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | ブロック、石積(張)における材料のかみ合わせが、裏込め材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度を確保していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 伸縮目地、水抜き孔を適切に施工していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他〔理由 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【51】かご工事(じゃかご・ふとんかご)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 詰石の大きさが設計図書の仕様を満足しており、空隙が少ないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 詰石作業によるかご材の損傷や法肩及び法尻の屈折部が、扁平にならないように施工していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 床ごしらえのうえ、間割りをしてかご頭の位置を定めていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 連結が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 開口部の緊結が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【52】二次製品構造物工事、小型構造物工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
2) ☐ ☐ 製品に有害なひび割れ等の損傷がないことが確認できる。
3) ☐ ☐ 施工基面を平滑に仕上っていることが確認できる。
4) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
5) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
6) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
7) ☐ ☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 埋戻し材料等の材質及び締固めが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他〔理由〕

【プレキャスト側溝関係】

- 1) ☐ ☐ 継ぎ目部が、付着、水密性を保ち、段差がないことが確認できる。
2) ☐ ☐ 側溝蓋が、側溝本体及び路面と段差が生じないよう施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 設計図書で定められた勾配を確保し、滞水が生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由〕

【プレキャスト擁壁工関係】

- 1) ☐ ☐ 壁体相互に食い違いが生じていないことが確認できる。
2) ☐ ☐ 目地施工について、付着・水密性を保つよう施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 基礎材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由〕

【ボックスカルバート工関係】

- 1) ☐ ☐ 基礎地盤の許容支持力を把握しながら施工していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 下流側又は低い方から設置し、接合面に食い違いが無いことが確認できる。
3) ☐ ☐ 接合部に漏水が生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ ボックスカルバートの縦締めを「道路土工－カルバート工指針」に基づき施工していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他〔理由〕

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①

%

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【53】河川浚渫工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 浚渫工の施工が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 河川管理施設、許可工作物等、他の施設の機能に支障を与えていないことが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 残土処理等を適正に処理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 残土等の水切りを十分処理していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 浚渫時に土砂と草木等を分別していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 施工区域内及び周辺の構造物の根入れ等に影響を与えてないことが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 生態系の保全に十分配慮した上で施工していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他〔理由_____〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【54】矢板工事（笠コンクリート工事含む）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料に損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 矢板の継手部のかみ合わせを確実に施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 導材を設置し、矢板のぶれ、よじれ、倒れを防止していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 矢板の打込みに際して、隣接矢板が共下りしていないことが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 控索材の取付けが適切であることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 腹起しの施工が適切であることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | ウォータージェット工法の打ち止めに際して、併用機械で貫入させ、落ち着かせていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 鋼矢板に変形を生じないように運搬、保管していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | コンクリート矢板に変形を生じないように運搬、保管していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 落錐によるコンクリート矢板の打設にあたり、落錐の重量、錐の落下高が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 控え版を適切に施工していることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【笠コンクリート工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | プレキャスト笠コンクリートについて、部材に損傷を与えないよう運搬していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | プレキャスト笠コンクリートについて、接合面が食い違わないよう施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【55】鋼製自在枠矢板工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 鋼材の保管管理が適正であることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 鋼材の組立・加工が適正であることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 使用する石材の規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 中詰材の詰込みを適切に行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【56】砂防ソイルセメント工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 配合試験を行い、示方配合を決定していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 試験施工により、混合時間、転圧回数、敷均し厚、施工機械を決定していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 材料の計量記録、含水比試験の記録等により、示方配合を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 材料の練混ぜ時間を管理しており、フェノールフタレイン溶液の散布によって、均一な混合状態となっていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 運搬・打設時間、敷均し、締固め、打継目処理及び養生方法等が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 降雨時の影響が無いよう対策を行っていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 現場密度試験の結果が規格値を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【57】アンカー工事（グラウンドアンカー工）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ 施工前に法面の安定、地盤の状況、地中障害物及び湧水を調査していることが確認できる。
2) ☐ ☐ アンカーの削孔に際して、削孔位置、削孔径、長さ及び方向が設計図書と一致しており、周囲の地盤を乱さないよう施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 既存の地質資料により定着層のスライム形状を把握し、削孔中にスライムの状態や削孔速度などにより、定着層の位置や層厚を推定しながら施工していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 削孔は直線性を保つように施工されており、削孔後の孔内は清水によりスライムを除去し、洗浄されていることが確認できる。
5) ☐ ☐ アンカー鋼材に注入材との付着を害するさび、油、泥等が付着していないことが確認できる。
6) ☐ ☐ アンカー材の注入にあたっては、置換注入と加圧注入により所定の位置に正確に挿入していることが確認できる。
7) ☐ ☐ 孔内グラウトに際して、グラウトを最低部から注入し、削孔内の排水及び排気を実行し、所定のグラウトが孔口から排出していることが確認できる。
8) ☐ ☐ アンカーの緊張・定着については、グラウトが所定の強度に達したのち緊張力を与え、適性試験、確認試験、定着時緊張力確認試験等により、変位特性を確認しながら、所定の有効緊張力が与えられるように緊張力を与えていることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【58】切土補強工事（鉄筋挿入工）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 施工前に法面の安定、地盤の状況、地中障害物及び湧水を調査していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 地山の掘削を適切に施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 補強材に注入材との付着を害するさび、油、泥等が付着していないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 削孔は直線性を保つように施工されており、完了後、スライムを除去していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 補強材の打設角度や削孔長等を適切に管理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 注入材を確実に充填していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 補強材を所定の位置に正確に挿入していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 確認試験等を実施し、設計を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【59】地下水排除工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
2) ☐ ☐ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
3) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
4) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
5) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【集排水ボーリング工関係】

- 1) ☐ ☐ ボーリングの施工に先立ち、孔口の法面を整形し、完成後の土砂崩壊が起きないようにしていることが確認できる。
2) ☐ ☐ 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 保孔管は、削孔全長に挿入していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 保孔管のストレーナー加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ せん孔完了後、各箇所ごとに、せん孔地点の脇に、番号、完了年月日、孔径、延長、受注者名を記入した標示板を立てていることが確認できる。
6) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【集水井工関係】

- 1) ☐ ☐ 集水井の施工にあたっては、常に観測(監視)計画等にて地すべりの状況を把握するとともに、掘削中の地質構造、湧水等を詳細に記録していることが確認できる。
2) ☐ ☐ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 梯子等の付属物が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他[理由 _____]

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【60】落石防止網設置工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
2) ☐ ☐ 材料に損傷がないことが確認できる。
3) ☐ ☐ 縦ロープ、横ロープ、補強ロープ等の配置、間隔、径が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 現地の土質条件を確認し、アンカー及び支柱を適切に配置していることが確認できる。
5) ☐ ☐ アンカーの根入れ長が設計図書の仕様を満足しており、適切に施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 想定される荷重に対して、アンカーが所定の耐力を有していることが確認できる。
7) ☐ ☐ 斜面の状況を確認して適切な長さの支柱を使用していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 結合コイルでワイヤーロープと金網を適切に連結していることが確認できる。
9) ☐ ☐ 地山と最下段の横ロープと間に過度な隙間がなく、落石がネット内から路面に転がり出ることがないように施工していることが確認できる。
10) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【61】補強土壁工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ 盛土材の使用にあたって監督員の承諾を得ており、土質試験結果に基づき、適正な条件で締固めを実施していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 第1層の補強材の敷設に先立ち、基盤面に排水処理を行っていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 設計図書に示された規格及び敷設長を有する補強材を所定の位置に敷設していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 横断方向に敷設する面状補強材に継目を設けていないことが確認できる。
5) ☐ ☐ 縦断方向の補強材をすき間なく施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 盛土材のまき出し及び締固めを壁面工側から順次奥へ施工しており、補強材にずれや損傷がないように締固めていることが確認できる。
7) ☐ ☐ 壁面の直線性や変形を確認しながらターンバックル等で壁面を調整していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 盛土に先行して組立てられる壁面工の段数を2段までとしていることが確認できる。
9) ☐ ☐ 壁面工付近や隅角部の締め固めを振動コンパクタや小型振動ローラ等を用いて入念に締め固めていることが確認できる。
10) ☐ ☐ 補強材が適切に保管されていることが確認できる。
11) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【62】軽量盛土工事（EPS）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 発砲スチロール材等に損傷が無いことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 軽量材の最下層ブロックを適切に設置していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 軽量材のブロック間を緊結金具を用いて固定していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 基盤に湧水がある場合監督員と協議の上適切に処理していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 軽量盛土材の仮置きにあたり、飛散防止等の対策を行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 紫外線からの劣化防止のため、軽量盛土材をシートで覆っていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。
③評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50％以下	80％以下	80％超える	
評価値	90％以上	a	a'	b	b
	75％以上90％未満	a'	b	b'	b'
	60％以上75％未満	b	b'	c	c
	60％未満	b'	c	c	c

注）試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【63】遊戯施設整備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- 1) ☐ ☐ 材料の品質が、証明書類で確認できる。
2) ☐ ☐ 施工基面が設計図書に示す高さに仕上げられ、整地の状況、公園施設との取合いを考慮していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 遊具を適切な方法で設置していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 遊具のコンクリート基礎が地表面に露出していないことが確認できる。
5) ☐ ☐ 設置から工事完了までの期間、仮囲いをする等の安全対策を適切に講じていることが確認できる。
6) ☐ ☐ 子どもが直接触れる可能性がある部分について、適切に加工・仕上っていることが確認できる。
7) ☐ ☐ 遊具の地際部に防蝕対策を行っていることが確認できる。
8) ☐ ☐ 消耗部品材等の仕様、標準使用期間、安全点検の要点などの施設の安全確保に関わる資料を提出していることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(_____ %) = 該当項目数(_____) / 評価対象項目数(_____)
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【64】下水道（開削）工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう適切に施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足し、適切に行われていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 基礎工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 管の布設を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 管の切断及びせん孔を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 埋設標識テープの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | マンホールとの接続を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 土留工の施工に当たり、調査、検討等を十分に行っていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 土留工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 管路路面覆工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | その他〔理由 _____〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【65】下水道(推進)工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 管の接合を適切に行っていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 推進施工管理データを記録していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | マンホールとの接続を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | マンホールブロックを適切に施工していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足し、適切に行われていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 土留工や路面覆工を適切に施工していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 薬液注入工において、観測孔等による水質等の管理が適切に行われていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 薬液注入工において、注入効果の確認を行っていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 滑材を適切に注入していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 裏込めを適切に施工していることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【66】ブロック舗装工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【路床・路盤工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | ブロックが平坦になるように路盤を転圧していることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | 路盤面で横断勾配が確保されていることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

【ブロック系舗装工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 敷砂の路盤への流出防止が必要に応じ適切に行われていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 敷砂の敷き均しが適切な方法で施工されていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 目地材、サンドクッション材を適切な材料で施工していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 端末部及び曲線部の処置を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | ブロックの敷設、不陸調整、転圧を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | 目地砂の充填を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表 (検査員用)

【67】グランド・コート舗装工事(クレー)(アンツーカー)(ウレタン)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 舗装工の路盤、基層及び表層を適切な方法で転圧していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 散水について淡水を用いていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
5) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【クレー舗装関係】

- 1) ☐ ☐ 表層を均一に敷均し、散水、転圧及び不陸整正を繰り返し、仕上っていることが確認できる。
2) ☐ ☐ 仕上がり面に土塊が残らないように十分かきならしていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 路床または下層土面をレーキで浅くかきならし、なじみよくしたうえで敷均し、転圧していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 化粧砂が均一に敷均し、転圧とブラッシングを繰り返して仕上っていることが確認できる。
5) ☐ ☐ 表層安定剤を所定量均一に散布し、転圧していることが確認できる。
6) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【アンツーカー舗装関係】

- 1) ☐ ☐ アンツーカーを均一に敷均し、散水、転圧及び不陸整正を繰り返し、仕上っていることが確認できる。
2) ☐ ☐ 路床または下層土面をレーキで浅くかき均し、なじみよくしたうえで敷均し、転圧していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 表層安定剤を所定量均一に散布し、転圧していることが確認できる。
4) ☐ ☐ その他[理由 _____]

【ウレタン舗装関係】

- 1) ☐ ☐ 基層を十分養生し、その仕上がりを確認してから表層を施工していることが確認できる。
2) ☐ ☐ ウレタンベース層を適切な方法で施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ ウレタンベース層硬化後に特殊プライマー材を均一に散布していることが確認できる。
4) ☐ ☐ ウレタンベース層に順次ウレタン上塗り材を切れ目なく均一な厚さとなるよう塗布していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 気象条件を配慮して施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 地下水や雨水の影響を配慮して施工していることが確認できる。
7) ☐ ☐ その他[理由 _____]

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【68】道路修繕工事 その1

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 |

【床版補強（鋼板接着工法）関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | ひびわれ状況を調査して適切な方法で処理していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 接着面の不陸調整を行い、油脂類等を除去していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 鋼板とアンカーボルト取付け穴の位置が一致するようマーキングしていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 注入材の充填を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

【床版補強工（増桁架設工法）関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1) ☐ | ☐ | 床版部を清掃していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 増桁を適切な方法で取り付けられていることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 注入材を適切な方法で充填していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | ひび割れを適切な方法で処理していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

【床版増厚補強工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 1) ☐ | ☐ | 路面切削前に舗設計画を作成していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 床版防水膜、橋面舗装を適切に施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | ひびわれを適切な方法で処理していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 床版部接着面の不陸調整を行っていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

【支承工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 既設支承の撤去にあたって、他の部分に損傷を与えないよう施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 支承の取替・補修・補強・塗装にあたり、ジャッキアップ・ダウン等の方法を適切に行い、上部構造の品質・性能に支障をきたしていないことが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | アンカーボルトやアンカーバーを定位置に精度よく取り付ける等、適切な方法で設置していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 支承を適切な方法で設置していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

【伸縮継手工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 供用中の施設に損傷及び機能上の悪影響が生じないよう既設の伸縮装置を撤去していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 伸縮装置の設置にあたり、事前に遊間量を計測し、使用材料の適合を確認していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 交通解放にあたり、コンクリートの強度発現が確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 伸縮装置からの漏水、有害なひび割れが無い。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

落橋防止装置工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 既設上下部構造の落橋防止装置取付部周辺の配筋状況を調査していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | アンカーの削孔を、既設鉄筋やコンクリートに損傷を与えないよう施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 下地処理、現場塗装等を適切に施工していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 落橋防止装置を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由] _____] |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【68】道路修繕工事 その2

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

●評価対象項目 チェック欄

【RC橋脚鋼板巻立て工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 既設橋脚のコンクリート面に付着する汚物等を適切な方法で除去し、吸水防止剤を塗布していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | アンカーを適切な方法で定着、鋼板を固定していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | モルタルを適切な方法で注入していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 現場溶接の施工及び品質管理が適正であり、試験及び検査を実施していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【橋脚コンクリート巻立て工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 既設橋脚の巻立て部分を入念にチッピングしていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | コンクリートの品質が確認でき、適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 鉄筋の品質が証明書類で確認でき、組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【コンクリート構造物品質確保ガイドの適用範囲に示される構造物】

- 6) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
- ☐ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

【橋脚繊維巻立て工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 既設コンクリートの表面処理を入念に実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 繊維シートを施工するにあたり、施工面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 施工時の天候、気温及び湿度等の条件を整理・記録していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 繊維シートの付着が十分であることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【注入工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 適切な方法で注入していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | グラウトパイプ等を適切に配置していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 注入孔を適切に充てんしていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | グラウト材の配合等が適切であることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【漏水対策工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 補修箇所を事前に調査していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 補修材の設置前に下地処理を適切に施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 補修材を適切に設置していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 品質向上に向けた取り組みがみられることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【断面修復工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 発錆している鉄筋の裏側まではつり取り、鉄筋の錆を完全に除去後、速やかに防錆剤を塗布していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 健全部に損傷を与えないよう不良部を完全に撤去し、断面修復前にはつり部の塵埃を高圧洗浄等により除去していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 断面修復材の配合、施工管理が適切であり、施工後に浮き等がないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 施工後に雨水、直射日光、風等が当たらないように養生していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【68】道路修繕工事 その3

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

●評価対象項目 チェック欄

【コンクリート表面被覆工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 事前に高圧洗浄等によりコンクリート表面を洗浄し、コンクリート脆弱部、レイトンス、塵埃、苔等を除去していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料の計量、攪拌時間を適正に管理し、規定の時間内に塗布していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 施工時の天候、気温及び湿度、コンクリート表面の水分量等の施工条件を管理し、適切な条件下で塗布していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 規定の回数で塗布されており、塗膜に割れ、剥がれ等がなく、被覆材がコンクリートに密着していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【コンクリートひび割れ注入工関係】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | ひび割れに沿ってワイヤブラシ、ディスクサンダー等で研磨して下地処理を行っており、必要に応じて油分を有機溶剤により除去していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | ひび割れ幅等に応じて注入位置を決定しており、また、適切な間隔で注入器を設置していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 注入材の配合が適切であり、適切な圧力で注入していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | ひび割れ表面をシーリング材で完全に閉塞しており、注入にあたって注入材の漏れ、だれがないことが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【69】仮設工事 その1

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 周辺環境(騒音・振動・地盤変動等)に配慮した施工方法で実施していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 工事中の安全確保のための調査を十分に行っていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

【工事用道路工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 工事用道路の施工にあたり、予定交通量・地形・気候を的確に把握し、周囲の環境に影響のないよう対策を講じていることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 工事用道路に一般交通がある場合には、一般交通の支障とならないよう適切に維持管理していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 盛土が不等沈下を起さないように締固めていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 盛土部の法面が崩壊しないよう締固めていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 敷砂利を均一に敷均していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

【仮橋・仮栈橋工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 覆工板と仮橋上部との接合を適切に施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 仮設高欄又は防舷材を適切に設置していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | ウォータージェットを用いて杭橋脚を施工する場合は、後の打止めを落錘等で貫入させ落ち着かせていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

【路面覆工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 覆工板間の段差、隙間、覆工板表面の滑り及び覆工板の跳ね上がり等が起こらないよう施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 路面覆工の横断方向端部に覆工板ずれ止め材を取り付けていることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 路面勾配がある場合に、覆工板の受桁に荷重が均等にかかるように施工していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

【土留・仮締切工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 仮締切工の施工にあたり、河積阻害や河川管理施設、許可工作物等に対する局所的な洗掘等を避けるような施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 河川堤防の開削をとまなう施工では仮締切を設置する場合には、国土交通省仮締切堤設置基準(案)の規定により施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 埋戻し箇所の残材、廃物、木くず等を撤去し、目標高さまで埋戻し十分に締め固めていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 適切な含水比で埋め戻していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | ウォータージェットを用いて仮設H鋼杭、鋼矢板等を施工する場合には、後の打止めを落錘等で貫入させ落ち着かせていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 仮設H鋼杭、鋼矢板等の引抜き跡を沈下など地盤の変状を生じないよう空洞を砂等で充てんしていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | タイロッド・腹起しあるいは切梁・腹起しの取付けにあたって各部材が一様に働くように締付けていることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | 横矢板が掘削と並行してはめ込まれ、横矢板と掘削土壁との間に隙間がないことが確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【69】仮設工事 その2

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【じゃかご又はふとんかご設置工関係】

- 1) ☐ ☐ 詰石の大きさが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 詰石を適切に配置し空隙が少ないことが確認できる。
3) ☐ ☐ 適切な断面形状に布設していることが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【土工用防護柵設置工関係】

- 1) ☐ ☐ 支柱の根入れ長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 地山の傾斜角度、高さ、土質及び工事の施工方法等を勘案の上施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 防護網を用いる場合は筋違を設置していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 土留板が適切に配置され、所定の強度(厚さ、材質)を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(_____ %)＝該当項目数(_____)/評価対象項目数(_____)
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考查項目別チェック表（検査員用）

【70】撤去工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないように施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 供用中の施設に損傷及び機能上の悪影響が生じないように施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 建設副産物を適正に処理していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 建設発生土を適正に処理していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 殻運搬処理及び発生材運搬において、運搬物が飛散しないように適正な処置を行っていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 工事の完成に際して、片付け、撤去、清掃が適切に行われていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | 環境保全に特に配慮していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【旧橋撤去工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、振動、騒音、粉塵、汚濁水等により、第三者に被害を及ぼさないよう施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 床版破砕及び撤去に伴い、適切な工法を検討し施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、適切に足場を管理していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、適切に資材の落下防止対策を講じていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【撤去工（一般構造物）関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 他に影響を与えないよう舗装版を取壊していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 舗装版の切断を適正な方法で施工、処理していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 石積み取壊し、コンクリートブロック撤去及び吹付法面取壊しを行うにあたっては、地山法面の雨水による浸食や土砂崩れを発生させないように施工していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 本体の部材に悪影響を与えないように鋼材を切断していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 鋼矢板及びH鋼杭の引抜き跡の空洞を充填していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 根固めブロックの撤去にあたっては、付着した土砂、泥土、ゴミを現場内において取り除いた後、運搬していることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | コンクリート表面処理を適正な方法で施工していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【伐採工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 地拵え(伐倒、刈払、枝条整理等)を適切に施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 残存木に損傷がないことが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 伐採木の撤去にあたっては、付着した土砂、泥土、ゴミを現場内において取り除いた後、運搬していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【100】ほ場整備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 仕様書等で定められている品質管理を実施している。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 使用する材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 工事測量により地区境界杭等を確認した上で、丁張を設置している。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 地区内の地表水及び地下水を排除しドライな状態で施工をしている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 濁り等の防止に十分留意して施工している。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 石礫、根株等の処理を仕様書に定められたとおり実施している。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 表土剥ぎ取り、基盤造成、畦畔築立、基盤整地、表土整地を、仕様書及び設計図書に定められたとおり施工している。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 進入路は、耕作に支障のない位置・勾配で設置している。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 暗渠排水工を仕様書及び設計図書に定められてとおり施工している。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工している。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 用・排水路の施工基面を平滑に仕上げられている。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 用・排水路の法面のとおりがよい。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 構造物側面の埋め戻しについては、仕様書等で示す条件により締め固めを実施している。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 |
| 16) | ☐ | ☐ | 道路盛土の転圧を十分行っていることが確認できる。 |
| 17) | ☐ | ☐ | 敷砂利が仕様書に定めた品質を有しており、雑物等の混入がないことが確認できる。 |
| 18) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【101】汎用化対策工事（湧水処理）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 使用する材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 掘削断面に崩壊、過堀がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 管渠資材(吸水管・集水管等)の規格・品質が設計図書に適合しており、損傷がないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 管渠(吸水管・集水管等)が良好に設置されていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 管、継手、付属管等(立上管、水甲、制御器等)の接続が適正であることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 被覆材が仕様書に定めた品質及び機能を有していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 埋戻が十分なされていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 表土復旧が適正に施工されていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 弾丸暗渠の機能が適切であることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 管理制御器(水甲、水位制御器等)の機能が適正であることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表（検査員用）

【102】ため池工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 仕様書等で定められている品質管理を実施している。
2) ☐ ☐ 材料の品質規定証明書が整備されている。
3) ☐ ☐ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由〕

【堤体工】

- 1) ☐ ☐ 掘削、段切り等を適切に実施していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 堤体部の盛り立て(締め固め等)を適切に実施していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 法面を平滑に仕上っている。
4) ☐ ☐ 遮水シートの施工基盤面に凸凹がなく、平滑に仕上っている。
5) ☐ ☐ 遮水シートの重ね幅を確保し、適切に接合している。
6) ☐ ☐ 積ブロック、張ブロック、ブロックマット等を適切に施工している。
7) ☐ ☐ その他〔理由〕

【取水施設工、洪水吐工関係】

- 1) ☐ ☐ 旧施設の撤去に当たり形状寸法が確認でき、残存する場合には漏水の原因にならないよう適切な処置をしていることが確認できる。
2) ☐ ☐ 洪水吐、底樋等の構造物基礎について、基礎地盤の支持力確認を行い、必要に応じて地盤改良を適切に施工している。
3) ☐ ☐ 施工基面を平滑に仕上っている。
4) ☐ ☐ 構造物周辺の盛り立て(締め固め等)を適切に実施していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
6) ☐ ☐ 鉄筋の組立、加工及びかぶり高が、設計図書を満足していることが確認できる。
7) ☐ ☐ コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。
8) ☐ ☐ ゲート等設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認できる。
9) ☐ ☐ その他〔理由〕

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【103】管水路工事（パイプライン）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 使用する材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 管及び付属品（制水弁、空気弁等）の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう適切に施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 管及び付属品（制水弁、空気弁等）の布設を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足し、適切に行われていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 埋設物表示テープが適切に設置されていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | コンクリート構造物等付帯構造物の施工にきめ細かな対応が行われている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 舗装復旧が適正に施工され、周辺との段差がないことが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 漏水がないことが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他〔理由〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③＝②÷①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。
③評価値（％）＝該当項目数（）／評価対象項目数（）
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【104】獣害防止柵設置工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 材料が設計図書の仕様を満足していることが、品質証明書類により確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 施工位置の確認を事前に監督職員及び地権者と確認を行ったことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 施工に際して支障となる施設(既存の柵等)がある場合、地元関係者と協議のうえ撤去・移動等したことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 金網の折り返し部分が地面と密着するよう、刈り払い機等により下地処理を行ったことが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 支柱に連番を記入し、支柱間隔が全て基準値以内であることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 支柱の根入れ長さが確保されており、支柱が不安定な場合は対策が講じてあることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | コーナー部等で支柱が転倒する恐れのある箇所については、控え柱・支線の施工が適切に施工されていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 支柱打ち込み後、金網をたるみの無いよう緊張させて固定されていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 金網張り後、イノシシの地面からの侵入防止としてアンカーピンにて金網折り返し部が固定されていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【200】植栽（森林）工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 地拵え(伐倒、刈払、枝条整理等)は適切に施工されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 保存木(保残木)は、適切に残置されている。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 苗木の表示票が整理されている。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 苗木の検収が行われ、規格外苗木の混入がない。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 苗木の管理(仮植、運搬、断幹、根の処理)は適切に施工されている。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 植栽(植穴、施肥、客土、密度、締固め等)は適切に施工されている。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 施肥(種類、施肥量、施肥方法等)は適切に施工されている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 植付間隔及び配植が設計図書どおり管理されている。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 植栽密度を管理する標準地の配置は適切である。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 簡易施設は適切に実施されている。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【201】木製構造物工事（木製ダム）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 使用する木材に有害な腐れや割れ等の欠陥がないことが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 木材の保管管理が適正であることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 横木、控木の組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 使用する石材の規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 中詰材の詰め込みを適切に行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【202】本数調整伐

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 選木は適正に実施されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 伐採木は完全に倒伏され整理されている。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 残存木に損傷等がない。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 残存木及び下層植生に必要な生育空間及び、光環境が確保されている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 伐採高は地上高概ね0.5m以内である。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 残存木に巻き付いた蔓茎類は丁寧に切断、除去されている。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 林縁木の残存により林分保護がされている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 標準地は類似林分毎に配置され、伐採率が適切に管理されている。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 簡易施設は適切に実施されている。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他〔理由 _____〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【203】徐伐

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 植栽木へ支障のある雑木は、地際より除去されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 植栽木へ支障のない雑木は、残置されている。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 植栽木であっても、枯損木・損傷木・暴れ木等は伐採されている。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 伐採木は完全に倒伏され整理されている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 残存木は損傷がない。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 肥料木は必要に応じて適切に処置(台切等)されている。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 植栽木に巻き付いた蔓茎類は、丁寧に切断、除去されている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 林縁木の残存により林分保護がされている。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【204】枝落とし

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 適期に施工されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 所定の高さまで施工されている。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 枯枝は落としてある。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 樹皮に損傷は無く、切断面は平滑(なめらか)に切除されている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 残枝長は適正か。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 植栽木に巻き付いた蔓茎類は丁寧に切断、除去されている。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 標準地が適切に設置されている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 林縁木の残存により林分保護がされている。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 作業方法等、安全管理は適切に施工されている。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【205】下刈り

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 1) | ☐ | ☐ | 適期に実施されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 植栽木に支障となる地被物は地際より丁寧に刈り払われている。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 植栽木の誤伐・損傷はない。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 二叉木の処理がされている。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 刈払物により植栽木の乾燥防止が図られている。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 蔓茎類は地際より切断され、植栽木から除去されている。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 棚部の萌芽処理や蔓茎類の処理が適切に行われている。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 |
| 9) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

●判断基準

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【300】魚礁製作工事 魚礁設置・投入工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【製作関係】

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) |
| 6) ☐ | ☐ | 型枠、支保工の取り外し時及び転置、仮置に際し、コンクリート等強度を適正に管理している。 |
| 7) ☐ | ☐ | 鉄筋、鋼材等の規格がミルシート等で確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 10) ☐ | ☐ | スパーサーの品質及び個数が設計図書の仕様書を満足することが確認できる。 |
| 11) ☐ | ☐ | 溶接管理が設計図書に基づき実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。 |
| 12) ☐ | ☐ | コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 13) ☐ | ☐ | 有害なひび割れが無い。 |
| 14) ☐ | ☐ | ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 |
| 15) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【沈設関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1) ☐ | ☐ | 気象・海象を十分調査して施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 礁体設置・投入の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 |
| 4) ☐ | ☐ | 設置・投入位置の測量において、特記仕様書で指定される機器を使用していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③=②÷①

%

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工、共同溝補強工等)又は合併工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|------|
| 1) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 2) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 3) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 4) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 5) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 6) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 7) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |
| 8) | ☐ | ☐ | 〔理由〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

●判断基準

＜A＞対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事

ex) 浚渫工、取壊し工等

- | | | |
|------------------|-------|----|
| ※ 評価値が90%以上 | | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | | c |

＜B＞対象工事がばらつきによる評価が適切な工事

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

① 削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

② 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

③ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満ではばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【1】コンクリート構造物工事 【5】砂防構造物工事 【9】海岸工事 【12】トンネル工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------|
| 1) | ☐ | コンクリート構造物の表面状態が良い。 |
| 2) | ☐ | コンクリート構造物の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 4) | ☐ | ひび割れがない。 |
| 5) | ☐ | 漏水がない。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当5項目以上		a
該当4項目		b
該当3項目		c
該当2項目以下		d

【2】土工事(盛土・築堤工事等)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------|
| 1) | ☐ | 仕上げが良い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 4) | ☐ | 構造物へのすりつけなどが良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【2】切土工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | 規定された勾配が確保されている。 |
| 2) | ☐ | 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 |
| 3) | ☐ | 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 |
| 4) | ☐ | 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 |
| 5) | ☐ | 関係構造物等との取り合いが適切に施工されている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

評 価

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【3】護岸・根固め・水制工事

【50】石・ブロック積(張り)工事

(護岸工事以外)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 材料のかみ合わせが良く、ひび割れがない。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 4) | ☐ | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

評 価

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【4】鋼橋工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|---------------|
| 1) | ☐ | 表面に補修箇所がない。 |
| 2) | ☐ | 部材表面に傷及び錆がない。 |
| 3) | ☐ | 溶接に均一性がある。 |
| 4) | ☐ | 塗装に均一性がある。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【5】地すべり防止工事

【57】アンカー工事(グラウンドアンカー工) 【58】切土補強土工事(鉄筋挿入工)

【59】地下水排除工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------------|
| 1) | ☐ | 地山との取り合いが良い。 |
| 2) | ☐ | 天端及び端部の仕上がりが良い。 |
| 3) | ☐ | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【6】舗装工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物の通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物へのすりつけ等が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 雨水処理が良い。 |
| 6) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当5項目以上		a
該当4項目		b
該当3項目		c
該当2項目以下		d

【7】法面工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 植生、吹付等の状態が均一である。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当3項目以上		a
該当2項目		b
該当1項目		c
該当項目なし		d

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【8】基礎工工事（地盤改良等を含む）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 土工関係の仕上がりが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部及び天端の仕上がりが良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
(地盤改良工事についても基礎工工事と同じ判断基準による) |
| 計 | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | |

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【10】コンクリート橋上部工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | コンクリート構造物の表面状態が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | コンクリート構造物の通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 天端及び端部の仕上がりが良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 支承部の仕上がりが良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ひび割れがない。 |
| 6) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【11】塗装工事（工場塗装を除く）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|---------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 塗装の均一性が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 細部まできめ細やかな施工がされている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 補修箇所が無い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ケレンの施工状況が良好である。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

【13】植栽工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|-----------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 樹木の活着状況が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 支柱の取り付けが堅固である。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当3項目以上		a
該当2項目		b
該当1項目		c
該当項目なし		d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【14】防護柵（網）工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 3) | ☐ | 部材表面に傷及び錆がない。 |
| 4) | ☐ | 既設構造物等とのすりつけが良い。 |
| 5) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【14】標識工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------|
| 1) | ☐ | 設置位置に配慮がある。 |
| 2) | ☐ | 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 標識板の支柱に変色がない。 |
| 4) | ☐ | 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【14】区画線工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 塗料の塗布が均一である。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 視認性が良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 接着状態が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 施工前の清掃が入念に実施されている。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

【15】電線共同溝工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当3項目以上		a
該当2項目		b
該当1項目		c
該当項目なし		d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【16】維持修繕工事 【17】修繕工事

【68】道路修繕工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|-------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 小構造物等にも注意が払われている。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | きめ細かな施工がなされている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【18】機械設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | きめ細かな施工がなされている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="text"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【19】電気設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 2) | ☐ | 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 |
| 3) | ☐ | 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 |
| 4) | ☐ | ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 |
| 5) | ☐ | 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【20】通信設備工事 受変電設備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。 |
| 2) | ☐ | 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 |
| 3) | ☐ | 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 |
| 4) | ☐ | 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 |
| 5) | ☐ | 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【21】港湾築造工事（海岸築造工事を含む）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--|-----------------------------|
| 1) | | 構造物等の通りが良い。 |
| 2) | | 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 3) | | 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 |
| 4) | | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 5) | | ★ 全体的な美観が良い。 |
| 6) | | ひび割れが無い。（コンクリート工事が含まれる場合） |

計

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。（安易に評価しない項目）

評 価

●判断基準

（コンクリート工事がある場合）

該当5項目以上		a
該当4項目		b
該当3項目		c
該当2項目以下		d

（コンクリート工事が無い場合）

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

【21】港湾浚渫工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

【製作】

- | | | |
|----|--|-------------------------------|
| 1) | | 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 |
| 2) | | 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 3) | | 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 |
| 4) | | 浚渫及び盛上り等の土砂が適切に処理されている。 |

計

評 価

●判断基準

該当3項目以上		a
該当2項目		b
該当1項目		c
該当項目なし		d

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【21】ブロック製作工事（ケーソン陸上製作工事を含む）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|-------------------|
| 1) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | コンクリートの肌が良い。 |
| 2) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | コンクリート構造物の通りが良い。 |
| 3) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | 天端仕上げ、端部の仕上げ等が良い。 |
| 4) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | ひび割れがない。 |
| 5) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

評 価

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【51】かご工事

【52】二次製品構造物工事、小型構造物工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | 通りが良い。 |
| 2) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 3) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | 端部処理が良い。 |
| 4) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 5) | <div style="background-color: #d1ecf1; height: 20px; border: 1px solid #c6e0b4;"></div> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計

評 価

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【53】河川浚渫工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|-----------------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 規定された水深・勾配が確保されている。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 自然環境との調和が図られている。 |

計 ☐

評 価

●判断基準

該当3項目以上		a
該当2項目		b
該当1項目		c
該当項目なし		d

【54】矢板護岸工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 土工関係の仕上げが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【55】鋼製自在枠工事

【201】木製構造物工事(木製ダム)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物の通りが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 部材表面に傷及びさびが無い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 地山との取り合わせが良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【56】砂防ソイルセメント工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物の通りが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 壁面材等にひび割れや損傷がない。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 漏水が無い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【60】落石防止網工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 地山との取り合いが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 金網やロープのたるみがない。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかに施工されている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【61】補強土壁工事

【62】軽量盛土工事(EPS)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【63】遊戯施設整備工事(公園施設)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 仕上げが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 設置位置に配慮がある。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【64】下水道工事(管渠)

【65】下水道工事(推進)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 路面の復旧状態が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【66】ブロック舗装工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 目地の通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物へのすりつけ等が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【67】グラウンドコート舗装工事

(クレー舗装) (アンツーカー舗装) (ウレタン舗装)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 構造物へのすりつけ等が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表 （検査員用）

【69】仮設工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|---------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 土工関係の仕上がりが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 細部まできめ細やかな施工がされている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【70】撤去工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 土工関係の仕上がりが良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 既存構造物または周辺との取り合いが特に良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良好である。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【100】ほ場整備工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|----------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 整地仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 石礫、雑物等が適切に処理されている。 |
| 3) | ☐ | 営農に十分配慮された施工がなされている。 |
| 4) | ☐ | 水路、道路の通りが良い。 |
| 5) | ☐ | 法面仕上がりが良い。 |
| 6) | ☐ ★ | 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当5項目以上		a
該当4項目		b
該当3項目		c
該当2項目以下		d

【101】汎用化対策工事（湧水処理）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|----------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 畦畔等埋戻し部の施工、仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 石礫、雑物及び残土処理が適切に処理されている。 |
| 3) | ☐ | 営農に十分配慮された施工がなされている。 |
| 4) | ☐ | 管渠等(吸水渠、集水渠、弾丸暗渠等)の通りが良い。 |
| 5) | ☐ | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 6) | ☐ ★ | 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当5項目以上		a
該当4項目		b
該当3項目		c
該当2項目以下		d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【102】ため池工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|----------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 土工の仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上がりが良い。 |
| 4) | ☐ | 構造物等の表面及び端部の仕上がりが良い。 |
| 5) | ☐ ★ | 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

【103】管水路工事 (パイプライン)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|----------------------------|-----------------------------|
| 1) | ☐ | 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 2) | ☐ | 管の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 漏水がない。 |
| 4) | ☐ | 路面復旧が適正に施工されている。 |
| 5) | ☐ ★ | 全体的な仕上がりが良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

該当4項目以上		a
該当3項目		b
該当2項目		c
該当1項目以下		d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【104】獣害防止柵設置工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 部材表面に傷、錆等の損傷が無い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 通りが良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 端部処理が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【200】植栽(森林)工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|----------------------|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 植栽地の全体的な美観が良い。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 枝条等は等高線上に適切に整理されている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 植栽木の配植が良い。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 簡易施設は適切で美観が良い。 |

計 ☐

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【202】本数調整伐

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|---|---|--|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 伐採木は枝払い・玉切りされ、棚状に整理されている。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 全体的な美観が良い。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | [理由] |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | [理由] |
| 計 <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | | |

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【203】除伐

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|---|--|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 伐採木等の整理は適切である。 |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 蔓茎類は丁寧に切断・除去されている。 |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 植栽木に被害を与える恐れのある丈径木(雑木)は巻枯しを行っている。 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | ★ 全体的な美観が良い。 |
| 5) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | [理由] |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【204】枝落し

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ、出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | | |
|----|---|----------------|---|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 枯れ枝は全て除去されている。 | |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 全体的な美観が良い。 | |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 〔理由 | 〕 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 〔理由 | 〕 |

計 ☐

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【205】下刈り

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ、出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | | |
|----|---|----------------------|---|
| 1) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 刈払い物は植栽木の列間に整理されている。 | |
| 2) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 全体的な美観が良い。 | |
| 3) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 〔理由 | 〕 |
| 4) | <input style="width: 100%;" type="checkbox"/> | 〔理由 | 〕 |

計 ☐

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【300】魚礁設置工事

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 部材表面に傷及びさびが無い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 4) | ☐ | 沈設位置の精度が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【上記以外の工事又は合併工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|------------|
| 1) | ☐ | 〔理由 _____〕 |
| 2) | ☐ | 〔理由 _____〕 |
| 3) | ☐ | 〔理由 _____〕 |
| 4) | ☐ | 〔理由 _____〕 |
| 5) | ☐ | 〔理由 _____〕 |

計 ☐

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |